



# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング

コード番号 7169 URL <http://www.newton-fc.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山岸 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長

(氏名) 山縣 正則

TEL 03-6233-0352

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	6,894	—	445	—	468	—	247	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 315百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	12.95	—
27年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成27年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(注) 平成27年8月1日付で当社普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
28年3月期第1四半期	27,167	—	9,718	—	32.8	466.00		
27年3月期	27,783	—	9,723	—	32.2	468.75		

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 8,903百万円 27年3月期 8,955百万円

(注) 平成27年8月1日付で当社普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し1株当たり純資産を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年8月1日付で当社普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成28年3月期(予想)の1株当たり配当金につきましては、当該株式分割後の株式数で算定しております。平成27年3月期の1株当たり配当金につきましては、株式分割前の記載となっております。

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	—	1,350	—	1,300	—	750	—	39.25
通期	29,000	73.0	3,500	13.7	3,450	13.0	1,700	8.5	88.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成27年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年3月期第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率については記載していません。

(注) 平成28年3月期の連結業績予想における1株あたり当期純利益については、平成27年8月1日を効力発生日として普通株式1株を3株に分割する株式分割を考慮した額を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	19,107,000 株	27年3月期	19,107,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	72 株	27年3月期	72 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	19,106,928 株	27年3月期1Q	19,107,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)における我が国経済は、前年に引き続き政府の経済政策や、日銀の金融緩和による円安・株高が続いており、緩やかな景気回復が継続いたしました。しかしながら、不安定な海外情勢による景気の下振れリスクの影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況も継続しております。

このような中、当社グループは、期初に入社した新卒社員の教育・研修を行うことによる生産性の向上、比較サイト、店舗及びコールセンターによる販売網の連携強化に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が6,894,607千円、営業利益が445,055千円、経常利益が468,848千円、税金等調整前四半期純利益が447,049千円、親会社株主に帰属する四半期純利益が247,360千円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、前第3四半期連結累計期間より連結財務諸表を作成しているため、前第1四半期連結累計期間との比較については記載しておりません。

#### <保険サービス事業>

保険サービス事業におきましては、コールセンター・店舗・WEB・訪問の4つのチャネルを通じて、保険募集活動を行っております。コールセンターの陣容拡大に伴う収益向上に加え、店舗・WEB・訪問との販売網の連携強化に注力いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の保険サービス事業の売上高は3,929,925千円、営業利益は159,481千円となりました。

#### <派遣事業>

派遣事業におきましては、派遣先企業へ保険募集活動を行う従業員を派遣しております。前連結会計年度に引き続き、独自の顧客リストを豊富に保持している企業の新規開拓や、既存派遣先企業との取引拡充に注力いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の派遣事業の売上高は1,411,846千円、営業利益は320,229千円となりました。

#### <ITサービス事業>

ITサービス事業は、(株)ウェブクルーが行う保険、引越し、車買取りなどの分野で運用する一括見積もり・資料請求サイト「保険スクエアbang!自動車保険」「ズバット引越し比較」「ズバット車買取比較」を中心とした顧客情報提供サービスであります。当第1四半期連結累計期間のITサービス事業の売上高は1,141,380千円、営業利益は86,427千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

(総資産、負債及び純資産の状況)

	前連結会計年度末	当第1四半期連結会計期間末	増減
	千円	千円	千円
総資産	27,783,751	27,167,660	△616,090
負債	18,060,294	17,448,747	△611,547
純資産	9,723,457	9,718,913	△4,543

総資産は、受取手形及び売掛金の減少や、のれんの償却等により、前連結会計年度末に比べて616,090千円減少の27,167,660千円となりました。

負債は、法人税等の支払等により、前連結会計年度末に比べて611,547千円減少の17,448,747千円となりました。

純資産は、剰余金の配当や親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べて4,543千円減少の9,718,913千円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月19日に公表しました業績予想から修正を行っておりません。

なお、業績見通し等の将来に関する情報は、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。従いまして、これらの業績見通し等に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(3)、連結会計基準第44－5項(3)及び事業分離等会計基準第57－4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の当第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、のれん177,957千円及び資本剰余金1,399千円が減少するとともに、利益剰余金が176,557千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4,563千円増加しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,198,007	7,056,205
受取手形及び売掛金	3,286,863	3,029,602
その他	822,659	949,983
貸倒引当金	△3,322	△3,704
流動資産合計	11,304,208	11,032,087
固定資産		
有形固定資産	1,151,141	1,228,422
無形固定資産		
のれん	10,390,291	9,901,787
その他	127,217	117,892
無形固定資産合計	10,517,508	10,019,680
投資その他の資産		
投資有価証券	3,126,445	3,158,639
その他	1,895,129	1,939,740
貸倒引当金	△210,680	△210,909
投資その他の資産合計	4,810,893	4,887,470
固定資産合計	16,479,543	16,135,573
資産合計	27,783,751	27,167,660

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	106,398	452,000
1年内返済予定の長期借入金	1,473,923	1,394,792
1年内償還予定の社債	1,596,000	96,000
未払金	2,349,996	2,021,075
未払法人税等	927,012	303,113
役員賞与引当金	60,000	10,500
賞与引当金	497,479	377,066
解約調整引当金	197,620	203,305
その他	783,604	820,770
流動負債合計	7,992,034	5,678,622
固定負債		
長期借入金	9,391,170	11,097,629
役員退職慰労引当金	84,056	91,059
退職給付に係る負債	205,970	215,376
その他	387,062	366,059
固定負債合計	10,068,260	11,770,124
負債合計	18,060,294	17,448,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,237,667	2,237,667
資本剰余金	2,137,341	2,135,942
利益剰余金	4,580,754	4,524,177
自己株式	△82	△121
株主資本合計	8,955,680	8,897,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△125	5,689
退職給付に係る調整累計額	768	466
その他の包括利益累計額合計	642	6,156
新株予約権	34,231	39,838
非支配株主持分	732,903	775,253
純資産合計	9,723,457	9,718,913
負債純資産合計	27,783,751	27,167,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	6,894,607
売上原価	3,859,807
売上総利益	3,034,800
販売費及び一般管理費	2,589,745
営業利益	445,055
営業外収益	
受取配当金	6,768
持分法による投資利益	21,220
助成金収入	14,953
その他	12,967
営業外収益合計	55,909
営業外費用	
支払利息	22,527
その他	9,589
営業外費用合計	32,116
経常利益	468,848
特別利益	
固定資産売却益	80
特別利益合計	80
特別損失	
固定資産除売却損	6,085
社債償還損	15,793
特別損失合計	21,878
税金等調整前四半期純利益	447,049
法人税、住民税及び事業税	286,037
法人税等調整額	△148,535
法人税等合計	137,502
四半期純利益	309,546
非支配株主に帰属する四半期純利益	62,186
親会社株主に帰属する四半期純利益	247,360



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	309,546
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	6,400
退職給付に係る調整額	△383
その他の包括利益合計	6,017
四半期包括利益	315,564
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	252,874
非支配株主に係る四半期包括利益	62,689

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	保険サービス 事業	派遣事業	I Tサービス 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,929,925	1,411,846	1,036,138	6,377,910	516,697	6,894,607	—	6,894,607
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	105,241	105,241	434,461	539,703	△539,703	—
計	3,929,925	1,411,846	1,141,380	6,483,152	951,159	7,434,311	△539,703	6,894,607
セグメント利益	159,481	320,229	86,427	566,138	86,470	652,609	△207,554	445,055

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△207,554千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。